

「ふっ—っ!」
「ふ—ッ!!」

「ひっ…いぎッ!!」
「ん…ぎっ…ぐんん!!」

「ぐ…おお…」
奥沢…いい締めりだぞ…♡」

「いつ…痛ッ!」
「や…やめ…ひぎッ!!」

「それは無理…だ…な…」
先生…この為に…くっ…
今まで…頑張ってきたから…な…」

「や…っ…いぎッ!」
「痛っ…んんぐっ…ぎッ!」

「はあ…はあ」
先生そろそろ…限界…だ…
奥沢の…ま●こ…に
種付け…種付…け…いく…ぞ…っ!!」



「た…たね…っ…け…?」



「先生っ…先生の赤ちゃん産ませてやる奥沢っ!!」

「ひっ!!」

バタ

「濃…精子 たっぷり射精すからな ちゃんと孕むんだぞいいな♡」

「やっ…嫌ッ やめ…っ止めてっ!!」

「くっ…暴れられるとち●ほが…っ ふ…っふ…ッ!!」

イクぞっ! イくぞ奥沢!! 初モノま●こ種付けイくぞッ!!」

「やっやああアアあッ!!」

びん

びん

びん

びん

バタ

バタ



「孕めっ孕め!!
初モノま●こ孕めええええっ!!」

「や…あ…ああ……」

「ぐ…うぐ…!!
射精…止まら…っ
孕め…孕め…奥沢…
先生の赤ちゃん…孕め…っ!!」

「ひっ…うっ…うっ…
や…赤ちゃん…ん…や…」

「ぶ…まずは二人…
これから…犯って
犯って…犯りまくって…やる……」

「いや…や…あ…
あ…かちや…ん…やあ…」

「さあまだまだいくぞ
先生の事しか考えられないように
してやるからな♡」

「や…あ…
い…あ…たす…け…」



—数時間後—

「せっせんせひ♡
イガッ♡イがせてくだふあい♡
おッおねがひっ♡」

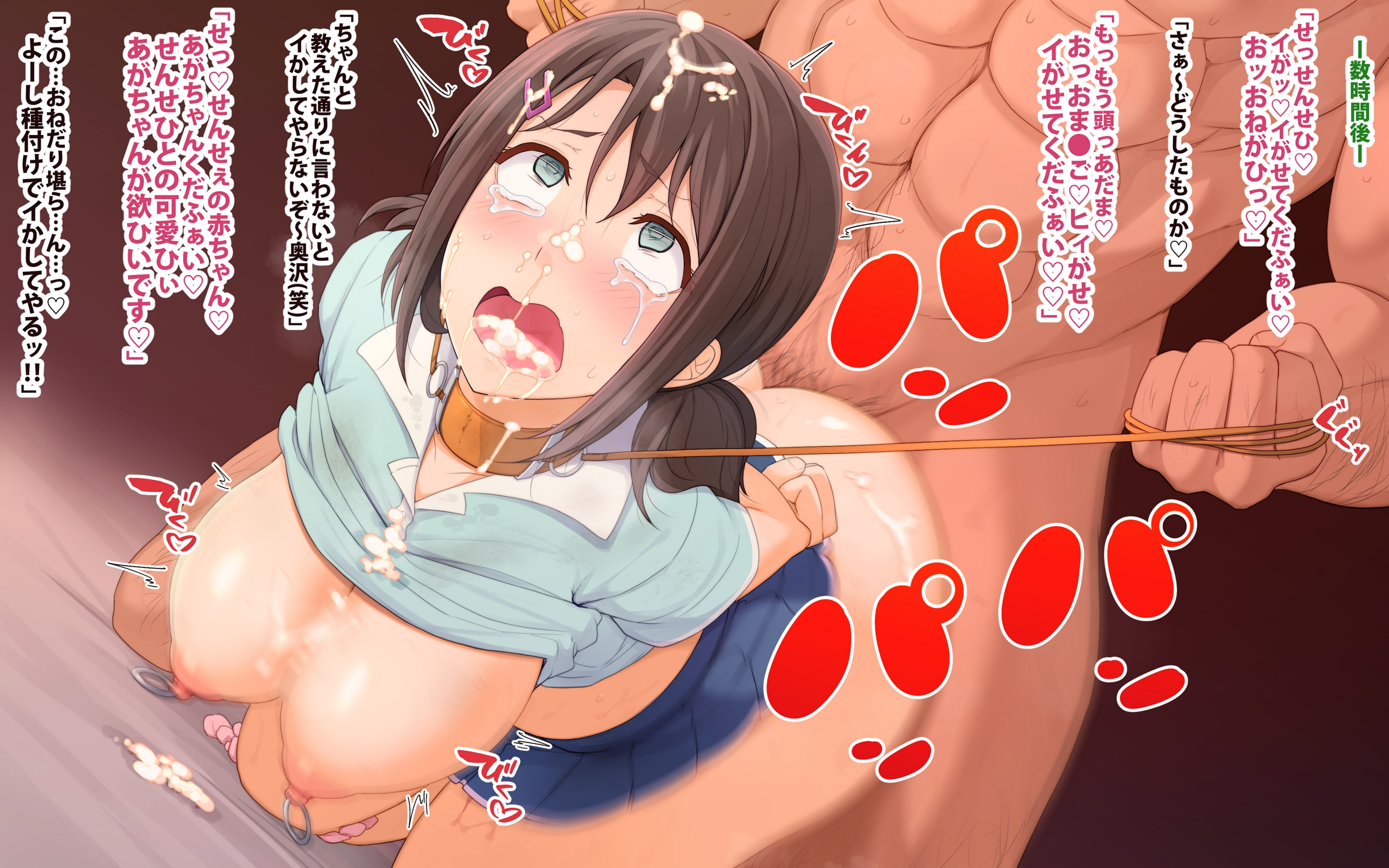
「さあ〜どうしたものか♡」

「もっもう頭つあだま♡
おっおま●ご♡ヒイがせ♡
イがせてくだふあい♡♡」

「ちゃんと
教えた通りに言わないと
イかしてやらないぞ〜奥沢(笑)」

「せっ♡せんせえの赤ちゃん♡
あがちゃんくだふあい♡
せんせひとの可愛ひい♡
あがちゃんが欲ひいです♡」

「この…おねだり堪ら…ん…っ♡
よーし種付けでイかしてやるッ!!」



「イけっイけ奥沢っ!
種付けでイけオラあああっ!!」

「ひゅん♡♡♡
ひゅんひゅんひゅん♡♡♡♡♡」

「お…おお…♡
し…搾り…とら…れ…♡」

ド
ン

ド
ン

「いっ…おあ…♡
あ…アあ…あ…♡」

「はあ…はあ…♡
根元から…ギチギチ締まって…♡
ち●ほ溶けて
無くなるかと思ったぞ(笑)」

「あ…♡
あ…っ…♡…ッひいん!!
んっん♡やっ♡アっあ♡」

「ふいふい一人目から大当たりだな♡
さあ次はどんな感じで
おねだりさせてやるかな♡」











